

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)南島町1TPRJ	階数	地上14F
建設地	堺市堺区南島町1丁36-13、2丁88-	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	808 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 0.0	評価の実施日	2013年9月1日
敷地面積	7,971 m <sup>2</sup>	作成者	鶴田
建築面積	2,895 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	21,057 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 96%  
③上記+②以外の 96%  
④上記+ 96%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 建物内においては、将来対応に配慮したゆとりある空間を確保すると共に、リサイクル資材や地球温暖化に配慮した材料を積極的に取り入れている。 建物外に関しては、生物環境の保全を考慮した植栽や防犯・光害対策を両立させた照明計画を通して外部環境に配慮し、周辺地域に貢献している。		
<b>Q1 室内環境</b> 化学汚染物質の使用を抑えることで空気環境に配慮した計画としている。	<b>Q2 サービス性能</b> ゆとりある階高設定・大空間の形状設定・ゆとりある荷重設定により、将来の用途変更及び設備・空間のプランニングにおいても柔軟な対応が図れる様にしている。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 生物環境の保全と創出に配慮した外構づくりを行っている。 建物の見え方に配慮し、圧迫感を感じさせない様にしている。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明効率の高い器具を採用し、設備システムの効率化を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 非構造材料にリサイクル資材を採用している。 地球温暖化に配慮した材料を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適正な駐車台数を確保している。 建物外壁・外灯・広告塔による周辺への光害の低減を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)南島1丁目PRJ 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区南島一丁36-13、二丁88-1	1	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 21,057.18 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.1	3
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	4.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.2		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	対象外		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.0		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	3.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画		CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	4.0	3
耐震・免震		CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上		CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制		CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	